

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

授業の補充問題や発展問題を家庭学習とリンクさせ、家庭学習の質の向上を目指す取組

～宇城市立豊野小学校～

家庭学習において「とよのっ子ドリル」等を活用し、学校と家庭が一体となり、授業内容とリンクさせ、学習内容の定着が図られるように取り組んでいる。

とよのっ子ドリル

3・4年生用

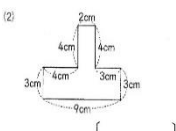
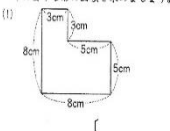


と：問いを発する力
よ：よく考え、学び合う力
の：望ましい未来を創る力

年 名 前

問題の一例（算数）

下のような形の面積を求めよう。



めあて
L字型の面積の求め方を考えよう

まとめ
L字型の面積は長方形や正方形の形をもとに考えると求めることができる。

とよのっ子ドリル

① $8 \times 8 - 5 \times 3 = 49$ 答え 49 cm^2
② $2 \times 4 + 3 \times 9 = 35$ 答え 35 cm^2

授業において、終末段階の多くで適用問題を行っています。その中には、補充的・発展的な問題も用意しており、家庭学習の個別化につなげるようにしています。

また、県学力・学習状況調査の課題克服プリントや全国学力・学習状況調査の過去問題等を単元別にまとめた「とよのっ子ドリル」を、授業の内容の徹底と補充だけでなく、家庭学習としても有効活用し、学習内容の定着につなげています。

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

家庭学習（自主学習ノート）における、学びの連続性を確保するための小中連携した取組

～小国町立小国小学校・小国中学校～

家庭学習の内容が充実している自主学習ノートを模範として校内に掲示している。特に上級生のノートを下級生が確認することで、家庭学習のポイントやノートのまとめ方の工夫を学ぶことができている。児童生徒が家庭学習の取組に見通しを立て、計画的な実施により効率的に学習できるよう、小学校と中学校が連携して取り組んでいる。



【廊下に「おぐにっ子ノート」を掲示】

小中一貫した家庭学習を推進するために、家庭学習ノートのまとめ方を統一し、学びの連続性を確保する取組を行っています。

ノートに書く項目は、授業で学んだ内容はもちろん、その日の家庭学習における「めあて」と「振り返り」を記載する等、自己の学びを振り返る家庭学習ノートとなっています。

翌日の学校生活への見通しや計画を立てるために、時間割や準備物等を記載できる枠も設け、一日の生活を振り返るノートとしても活用しています。

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

児童の学びを支える、家庭学習習慣や読書習慣の意識付けを図る取組 ～益城町立津森小学校～

学習環境の整備、日常生活や学習規律、家庭学習の手立て等について、小学校から中学校の9年間を系統的、段階的に位置付け、木山中学校区全体で共通実践を進めている。

『四賢デー』～「0」のつく日は、ノーマディア・読書デー～(低)

月	日	曜	ノーマディア 00 200 400 600	どくしょ 100 200 300 400	かていがくしゅう かていがくしゅう		保護者 サイン	組
					べんきょうしたこと	時間 (分)		
第1回	10	木	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	おしぐたい おしぐたい	40分		
第2回	30	水	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	おしぐたい おしぐたい	35分		
第3回	8	30月	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	おしぐたい おしぐたい	35分		

『四賢デー』～「0」のつく日は、ノーマディア・読書デー～(高)

月	日	曜	ノーマディア 00 200 400 600	読書 300 400 500 600	家庭学習 かていがくしゅう		保護者 サイン	組
					勉強したこと	時間 (分)		
第1回	10	木	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	漢字プリント おしぐたい	20分		
第2回	30	水	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	おしぐたい おしぐたい	20分		
第3回	8	30月	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	おしぐたい おしぐたい	35分		
第4回	10	金	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	おしぐたい おしぐたい	35分		

津森小学校（木山中学校区）では、「家庭学習の充実」、「読書活動・ノーマディアデーの推進」を共通実践しています。

家庭学習や読書の習慣を意識付ける取組とメディアコントロールの取組を関連付け、家庭と連携し継続的に取り組んでいます。児童が記録カードに取組状況を記録し、保護者の確認や担任のコメントにより、児童の実態を把握し、意欲を高めています。

学校では記録の集計と職員間での結果の共有を行い、児童や学級の状態を確認し、新たな手立てを講じていきます。